走行上のご注意

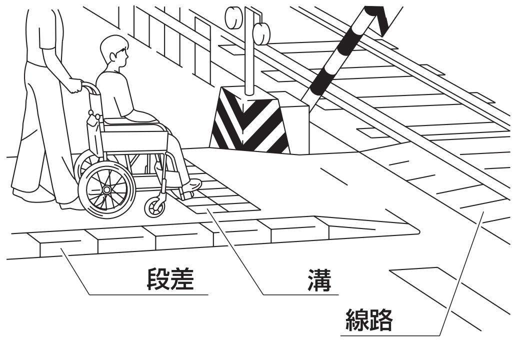
・車いすは歩行者として扱われています。車道を通らず、必ず歩道を通ってください。

・歩道の段差や凹凸のある路面を走行するときは、前のめりにならないよう充分注意してください。

・溝や踏切の線路による落輪、前輪キャスターの挟み込みには充分注意してください。

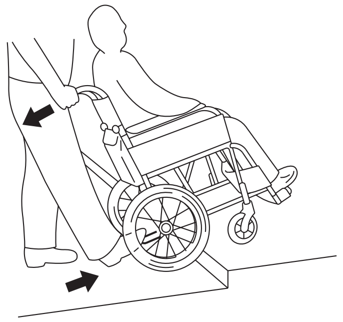
・踏切を通過するときは、まわりの安全を確認した上で、停車せずに通過してください。

・傾斜地ではスピードが出やすいため、走行には充分注意してください。



段の上がりかた

1 足元のテッピングレバーを押し出し、押し手を手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上にあげます。

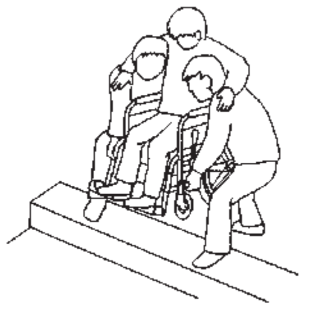


2 後車輪を段に突き当て、車いすを押しながら押し手を持ち上げます。
＊無理な力による段差の乗り越えは、フレームの破損につながります。

車いすに乗ったまま持ち上げる場合

⚠警告	持つ箇所によっては破損や事故につながる恐れがあります。アームレスト、背折れジョイント、レッグパイプ、フットレストなどは持たないでください。

車いすに乗ったまま持ち上げるときは2人以上で行ない、使用者の上半身を支え、フレーム下部を両側からしっかり持って持ち上げます。



段の下りかた

押し手とティッピング部分で車いすを支えながら、ゆっくり段を下ります。
＊無理な力による段差の下りかたは、フレームの破損につながります。
＊段差のあるところを下るときは、車いすに衝撃を与えないように、ゆっくり下ってください。車いすの破損や故障の原因となります。

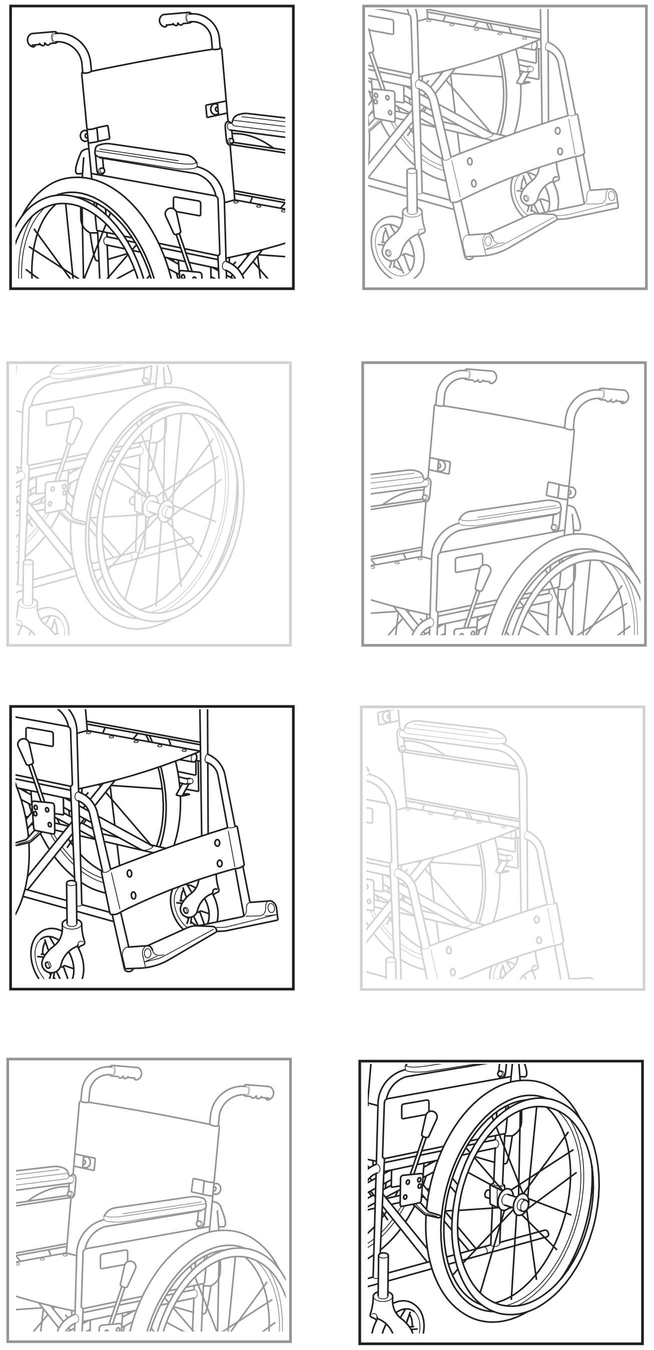
車いすの廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。

製造元
MiKi
株式会社　ミ　キ
〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

1110-002

車いす　取扱説明書

より快適に車いすをお使いいただくために



はじめに

この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

目　次

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・2
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・5
使いかた ・・・・・・・・・・・・・6
開きかた/たたみかた ・・・・・ 6
乗り降りのしかた ・・・・・・・・・・・・・・・ 7
アームレストフレームの跳ね上げ ・・・・ 8
アームレストの取り外し・取り付け ・・・ 9
座面の角度を変える（ティルト機能） ・・・10
背シートの角度を変える
（リクライニング機能） ・・・・・・・・・・・10
スイングアウトフットレスト
の開閉・取り外し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
フットレストの取り外し・取り付け ・・・・11
各部の調節のしかた ・・・・・・12
アームレストパッドの高さ調節 ・・・・・12
ステップの高さ調節 ・・・・・・・・・・・・・・12
座面の高さ調節 ・・・・・・・・・・・・・・・・14
フットレストの上げ下げ ・・・・・・・・・・16
連結バーの取り付け・取り外し
[片手駆動(シャフト式)仕様車のみ] ・・・・17
背シートの張り具合調節 ・・・・・・・・・・18
使用上のご注意 ・・・・・・・・・・19
保守・点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
お手入れ・保管について ・・・・・・・・・・19
走行上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・20
段の上がりかた ・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
段の下りかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書では、お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味をよく理解したうえで本文をお読みください。

【表示の意味】

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが予想される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

⚠	警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
🚫	禁止の行為であることを告げるものです。
❗	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

＊ＳＧマーク制度は、車いすの欠陥によって発生した人身事故に対する賠償制度です。
＊安全性が確保されています。
＊誤使用を防ぐために取扱説明書がついています。
＊ＳＧマーク付き製品の欠陥により人身事故が起きた場合は、賠償制度が実施されます。

⚠危険

🚫 **スピードを出さないでください。**
スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。

❗ **自走用であっても自力で操作不可能な坂道では、介助者を伴ってください。**

❗ **急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。また、介助用ブレーキレバーを使いスピードを落としてください。**

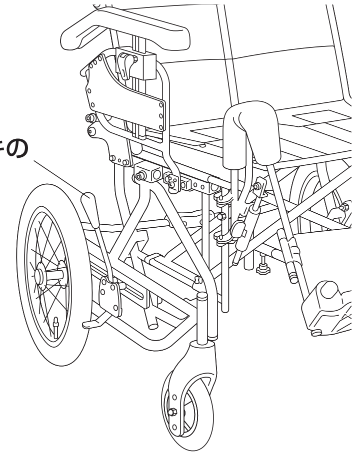
❗ **【モジュール車の場合】**
後車輪とキャスター車輪は、同じ仕様の部品を使用し、それぞれ座高に対応する位置に取り付けてください。
後車輪とキャスター車輪の取り付け高さを誤ると、腰掛けた場合に転倒して、事故やけがにつながる恐れがあります。

⚠警告

🚫 **乗り降りの際にはステップに乗らないでください。**
後車輪が浮き上がり、転倒する恐れがあります。

❗ **乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてください。**
ブレーキがかかっていないと車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。ブレーキレバーは、ブレーキレバーが止まる位置まで確実に操作してください。

🚫 **乗り降りの際にはブレーキレバーに体重をかけないでください。**
レバーが破損・変形し、転倒する恐れがあります。



❗ **使用する前に、両側の背折れジョイントが確実にロックされていることを確認してください。**
ロックされていないと、使用者が後方に転倒する恐れがあります。

🚫 **アームレストフレームやフットレストを持って車いすを持ち上げないでください。**
アームレストやフットレストのロックが外れ、けがをする恐れがあります。

❗ **車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。**
坂道等の傾斜のある場所では、駐車ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながる恐れがあります。

❗ **各部を調整する場合は平坦な場所で行ってください。**
車いすが動きだし、事故やけがにつながる恐れがあります。

❗ **ティルト、リクライニングの両機能がある場合は、頭部が座面よりも低くならない範囲で角度調節をしてください。**
使用者が後方に転倒したり、ずり落ちたりする恐れがあります。

🚫 **ウイングアームレストを跳ね上げた状態で走行しないください。**
使用者が車いすから落ちて、事故やけがにつながる恐れがあります。

❗ **ウイングアームレストを戻した後は、必ずロックされたことを確認してください。**
使用中に外れると、事故やけがにつながる恐れがあります。

🚫 **スイングアウトフットレストを開いた状態で走行しないでください。**
事故やけがにつながる恐れがあります。

❗ **スイングアウトフットレストを閉じた後は、必ずフックで固定されたことを確認してください。**
事故やけがにつながる恐れがあります。

❗ **乗り降りの際に、上げたステップに足が当たらないよう注意してください。**
けがをする恐れがあります。

🚫 **手押しハンドル、本体フレームおよびバックサポートのポケットに重いものを吊り下げたり、入れたりしないでください。**
過度の荷物はバランスを崩し、転倒する恐れがあります。

🚫 **車いすの分解、フレーム構造を変更するような改造は行わないでください。**
製品の強度や耐久性が損なわれ、転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。

❗ **【モジュール車の場合】**
座高・座幅および前後車輪間の距離調節は、販売店へご依頼ください。

⚠注意

この車いすは一人用です。二人以上の乗車や、目的以外での使用はしないでください。

フレームに最大体重（積載物も含む）が記載されている場合は、体重制限を守って使用してください。

車いすをたたむときは、シートパイプを握らないでください。
手をはさみ危険です。

使用者が乗車中は、背折れの操作は絶対に行わないでください。
背折れのヒンジ部分で手や腕をはさむ恐れがあります。

背折れジョイント、跳ね上げ式アームレスト、スイングアウトフットレストなどの可動部に指や身体をはさまないよう注意してください。

走行中、足がフットレストから落ちないようにしてください。

走行中、身体を乗り出さないでください。
走行の安全を損ない危険です。

操作中に異常な音や振動が発生したら、即時に使用を中止してください。
事故やけがにつながる恐れがあります。

ステッププレートを足で上げる場合は、素足では行わないでください。
けがをする恐れがあります。

ステップの下には足を入れないでください。
足を地面でこすったり、ステップや前輪キャスターなどに足をぶつけてけがをする恐れがあります。

リクライニング車いすでは、リクライニングした状態の背シートには腰かけないでください。
転倒によるけがや、車いすの破損の原因になります。

アームレストを跳ね上げて乗り降りする際は、アームレストを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。
アームレストが身体、衣服に引っかかり、けがをする恐れがあります。

折りたたんだ車いすを開く時に、シートパイプを握って押し下げないでください。
手をはさみ危険です。

使用する前に後車輪・キャスター車輪・駐車ブレーキ等のネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。

高さ調整式押し手グリップは、クイックリリースのナットで固さを調整し、しっかり固定された状態を確認し使用してください。

アームレストパッドの高さを調整した後は、必ずロックされたことを確認してください。

ステップ下面は地上より50mm以上あげた状態で使用してください。

暖房器具にタイヤを近づけないでください。
タイヤの空気が膨張し、大きな音をたててパンクすることがあります。

段差のあるところを上り下りするときは、車いすに衝撃を与えないように、ゆっくり上り下りしてください。
車いすの破損や故障の原因となります。

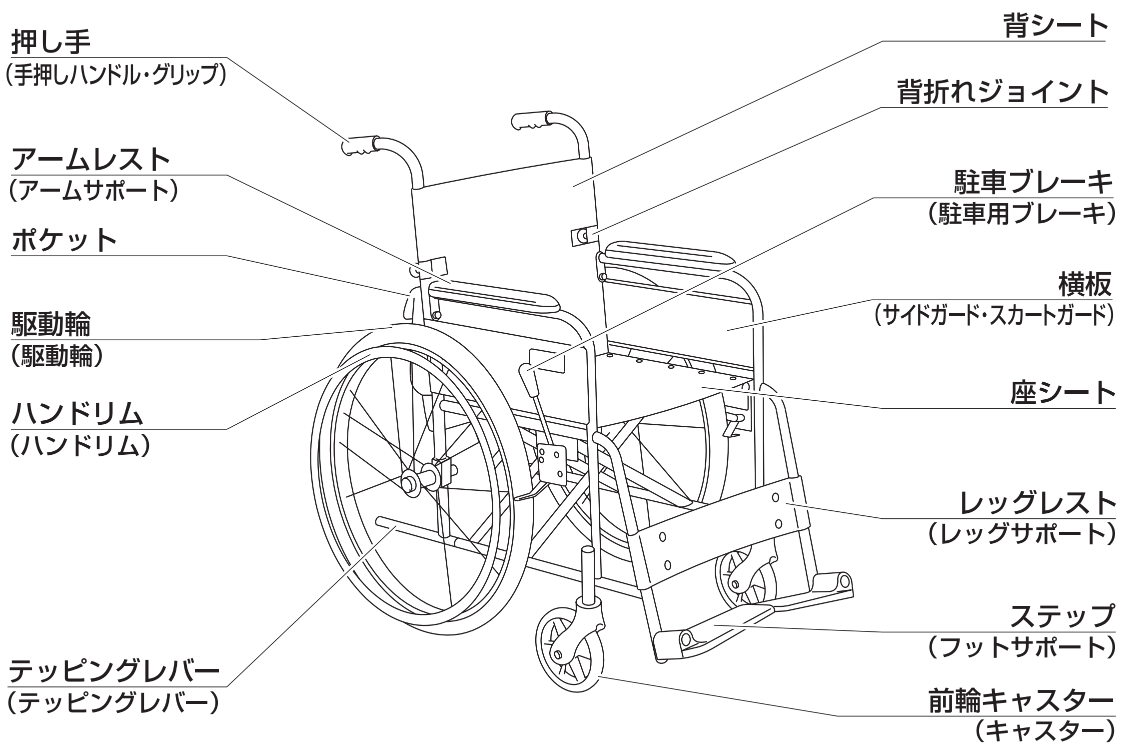
車いすを自動車に載せる際および自動車から降ろす際は、車いすに大きな衝撃を与えないよう、ゆっくりと静かに降ろしてください。
車いすの破損や故障の原因となります。

シンナー、ベンジン等の溶剤は、使用しないでください。
製品を傷める恐れがあります。

各部のなまえ

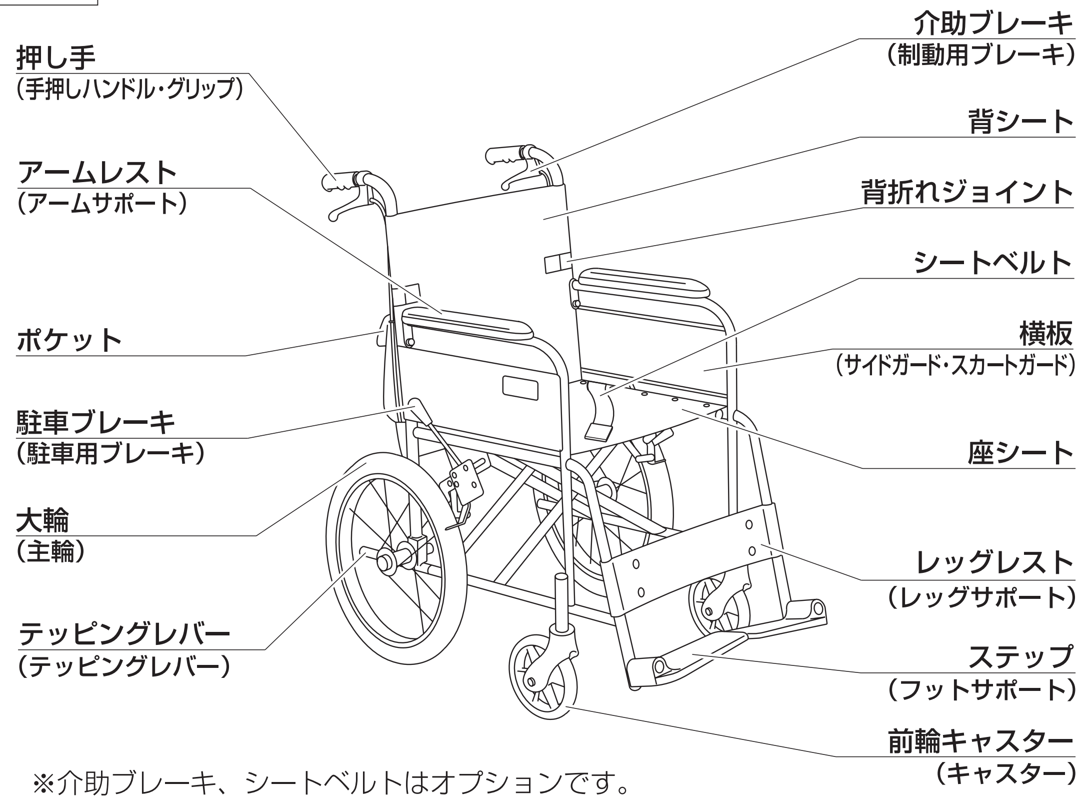
下図は標準仕様車です。車いすによっては、装備や形状が異なります。

自走型



※自走型でも介助用として使用する場合は、介助ブレーキ(オプション)、シートベルト(オプション)が付いているものをお選びください。

介助型



※介助ブレーキ、シートベルトはオプションです。

（　）内の名称はJIS規格に準じた呼称です。

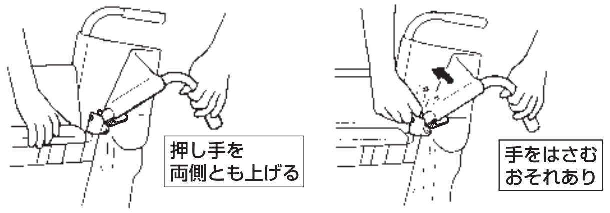
使いかた

開きかた/たたみかた

⚠注意	・シートパイプを握って押し下げないでください。手をはさんでけがをする恐れがあります。 ・必ずブレーキをかけて操作を行ってください。 ・背折れジョイントの開口部に手や指を近づけないでください。

● 開きかた

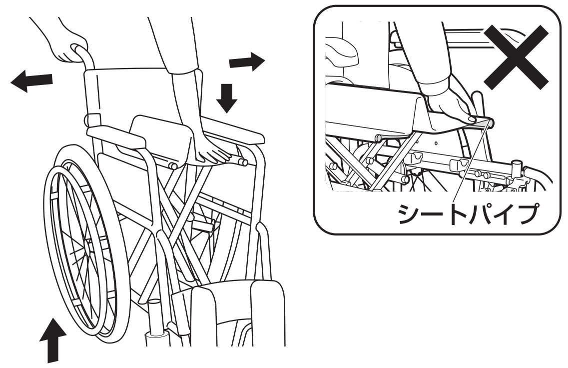
1 押し手を両側とも上げます。
＊開口部に手や指を近づけないでください。



2 押し手を持って、軽く左右に開きます。

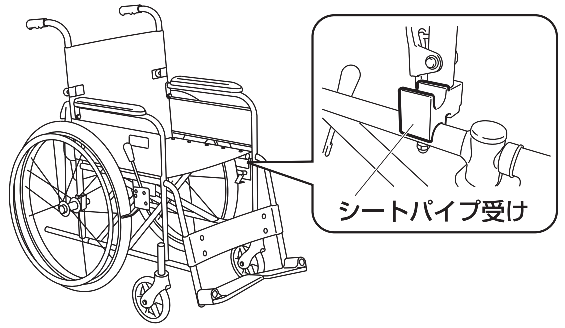
3 片側の車輪を少し浮かせて、その状態を保ちます。

4 車輪を浮かせていない側の座シートの表面を、手の平で押して開きます。
＊シートパイプを握らないでください。



片側の車輪を浮かせる

【シートパイプ受けが付いている場合】
シートパイプ受けに、シートパイプがしっかりとはまっていることを確認してください。
＊しっかりはまっていない場合は、シートパイプの中央付近を押してはめてください。押す時は、シートパイプの先端を押さないでください。フレームが変形する恐れがあります。



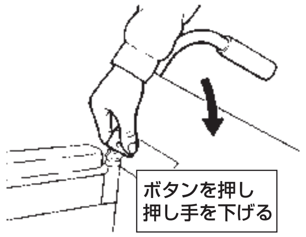
シートパイプ受けにシートパイプをはめ込むことで、ガタつきをなくす構造になっています。

● たたみかた

1 車いすのブレーキを両輪にかけておきます。

2 図のように、押し手を両側とも下げます。

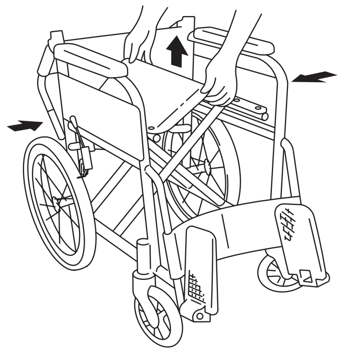
レバータイプ



ボタンタイプ

3 ステップを両側とも上げます。

4 座シートの前後を持ち上げて、シートパイプを引き寄せます。



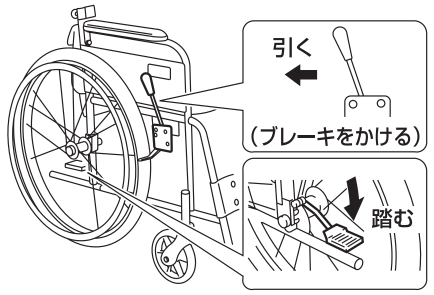
5 左右のアームレストを外側から内側に押し、座シートを折りたたみます。

乗り降りのしかた

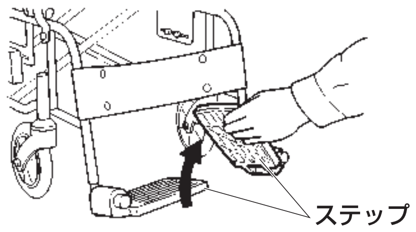
⚠警告	・乗り降り時は、必ず駐車ブレーキをかけてください。車いすが動きだし大変危険です。 ・車いすに乗り移る際、ステップの上には乗らないでください。転倒し、けがをする恐れがあります。 ・上げたステップに足が当たらないよう注意してください。けがをする恐れがあります。

● 乗りかた

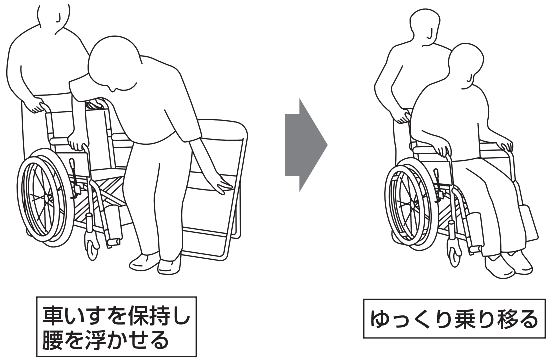
1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。



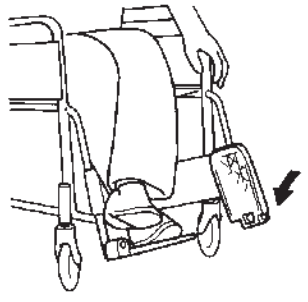
2 ステップを両側とも上げます。
＊ステップの上には乗らないでください。転倒し、けがをするおそれがあります。
＊上げたステップに足が当たらないよう注意してください。けがをするおそれがあります。



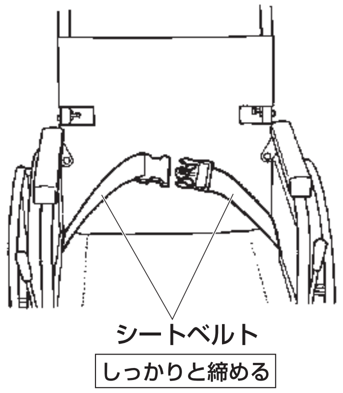
3 車いすをしっかりと保持しながら、ゆっくり乗り移ります。



4 ステップを降ろして両足を乗せます。



5 シートベルト（オプション）を締めます。
＊体格に合わせてシートベルトを調整し、座位をしっかりと安定させてください。



● 降りかた

「乗りかた」と逆の要領で行なってください。

アームレストフレームの跳ね上げ

アームレストフレームをワンタッチで後方へ跳ね上げることができます。ベッドと車いすの間の移乗などがスムーズに行なえます。

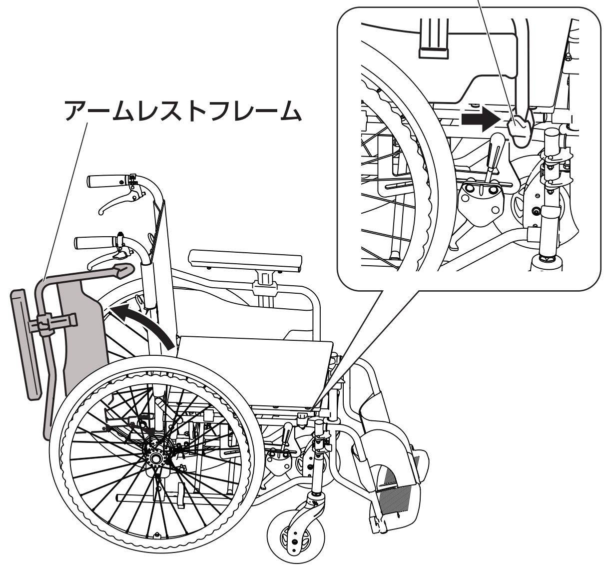
⚠注意	・操作は、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。 ・アームレストフレームを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。 ・アームレストを跳ね上げて乗り降りする際は、アームレストを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。アームレストが身体、衣服に引っかかり、けがをする恐れがあります。

ウイングロック

● 跳ね上げかた

Aタイプ

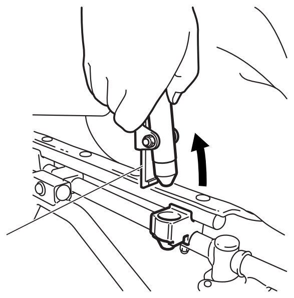
ロックレバーを押しながら、アームレストフレームを後方へ跳ね上げます。



＊アームレストフレームを上げた状態で、アームレストフレームに力を加えないでください。フレームが変形し故障の原因となります。

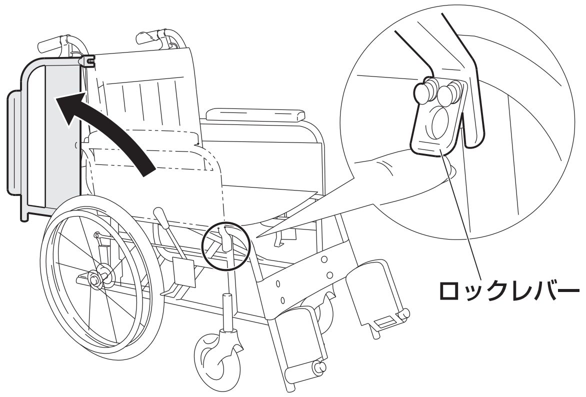
Bタイプ

ロックレバーの上側を押しながら、アームレストフレームを持ち上げて後方へ跳ね上げます。



Cタイプ

ロックレバーを外側に引きながら、アームレストフレームを後方へ跳ね上げます。



● 戻しかた

⚠注意	アームレストフレームを下ろすときは、身体をはさまないように注意してください。

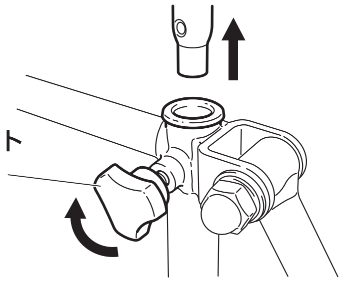
アームレストフレームを下ろし、完全にロックされたことを確認します。

＊アームレストフレームを下ろした後、アームレストフレームが完全にロックされていることを確認してください。

アームレストの取り外し・取り付け

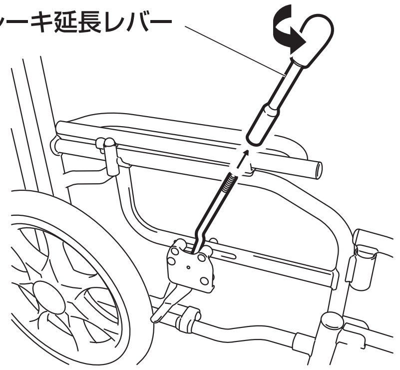
● 取り外しかた

1 アームレストフレーム固定つまみをゆるめ、アームレストフレームを真上に引き上げて取り外します。



2 ブレーキ延長レバーを回して取り外します。

＊レバーはなくさないように注意してください。



● 取り付けかた

1 アームレストフレームの前後をはめ込み、しっかりとはまったことを確認してから、アームレストフレーム固定つまみを締め込みます。

2 ブレーキ延長レバーをしっかりと取り付けます。

座面の角度を変える（ティルト機能）

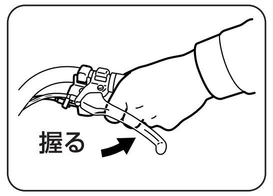
⚠注意	・操作は、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。 ・介助者は、操作をする前に「倒します」「起こします」と声をかけてください。また、倒すときは、使用者の体重が押し手に掛かりますので、しっかり支えてください。

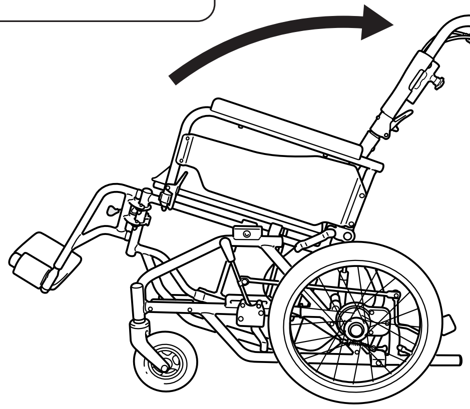
1 **押し手グリップのレバーを握ります。**
(チルトレバーマークが付いた側のグリップです。)
座面の角度が可動範囲内で調整できます。

2 **お好みの角度が決まったら、その位置で座面を止めたまま、レバーを離します。**
座面が固定されます。

3 **座面と背シートにガタつきがないことを確認します。**

＊操作はゆっくり行なってください。レバーの握りこみが不十分だとロックが解除されず、操作ができませんのでご注意ください。





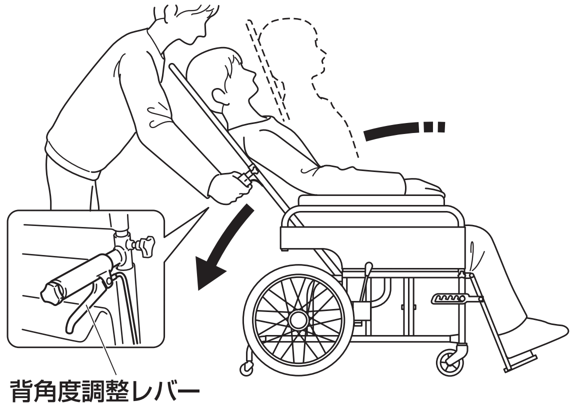
背シートの角度を変える（リクライニング機能）

⚠注意	・操作は、必ず両輪の駐車ブレーキをかけ、転倒防止バーを付けた状態で行なってください。 ・介助者は、操作をする前に「倒します」「起こします」と声をかけてください。また、倒すときは、使用者の体重が押し手に掛かりますので、しっかり支えてください。

1 **両輪の駐車ブレーキをかけ、転倒防止バーがしっかり付いていることを確認します。**

2 **倒すとき：**
背角度調整レバーを握り、背シートをゆっくり後ろに倒します。

起こすとき：
背角度調整レバーを握り、背シートをゆっくり起こします。



スイングアウトフットレストの開閉・取り外し

フットレストをワンタッチで開閉することができます。車いすへの乗り降りの際、フットレストが脚にぶつかることなくスムーズに移乗することができます。

⚠警告	・スイングアウトフットレストの開閉・取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。 ・スイングアウトフットレストを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。 ・開閉時、フック部に身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。けがをする恐れがあります。 ・乗り降りの際、スイングアウト部に身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。

● 開きかた

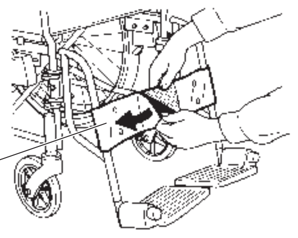
回転レバーを矢印の方向に引き、そのままスイングアウトフットレストを外側に回転させて開きます。

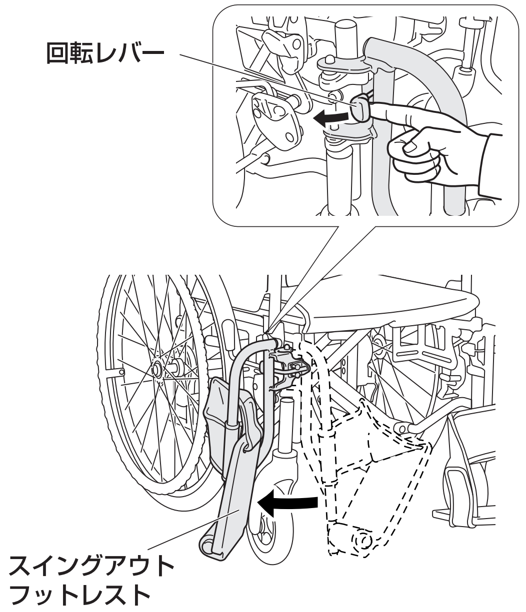
● 閉じかた

⚠注意	スイングアウトフットレストを閉じるときに、 指をはさまないよう注意してください。

スイングアウトフットレストを内側に回転させて閉じます。閉じた後、スイングアウトフットレストが完全にロックされたことを確認します。

＊フットレストを開く前に、レッグレストを取り外しておいてください。



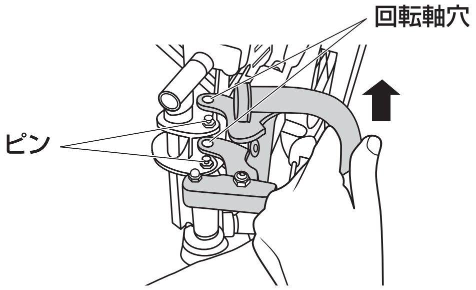


● 取り外しかた

スイングアウトフットレストを外側に開いた状態で、垂直に引き上げます。

● 取り付けかた

車体フレーム側の2つのピンにスイングアウトフットレスト側の回転軸穴（2箇所）を合わせてはめ込みます。
＊スイングアウトフットレストを開いた状態で、スイングアウトフットレストに力を加えないでください。金具が変形し故障の原因となります。



フットレストの取り外し・取り付け

車いすによっては、用途や好みに応じてフットレストを取り替えることができます。フットレストを取り替えるときは、下記方法に従って、フットレストの取り外し・取り付けを正しく行なってください。

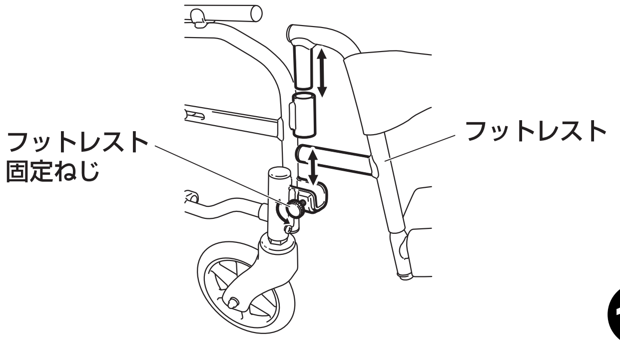
⚠警告	・フットレストの取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。 ・フットレストを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。

● 取り外しかた

フットレスト固定ねじをゆるめた後、フットレストを垂直に引き上げて取り外します。

● 取り付けかた

取り外しと逆の要領でフットレストを取り付けた後、フットレスト固定ねじをしっかりと締め付けます。
＊取り付け後、フットレストが確実に固定されていることを確認してください。



各部の調節のしかた

⚠警告	各部の調節は必ず駐車ブレーキをかけてから、平坦な場所で行なってください。

アームレストパッドの高さ調節

⚠注意	・高さ調節をした後は、必ず固定されたことを確認してください。 ・調節中にアームレストが下がり、アームレストフレームとアームレストパッドの間に指をはさまないよう注意してください。けがをするおそれがあります。 ・アームレストを持って車いすを持ち上げないでください。

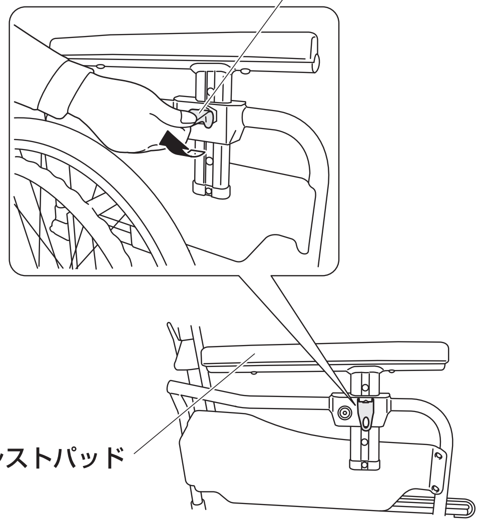
1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。

2 ロックレバーを引いてロックを解除します。

3 アームレストパッドの高さを調節し、希望の高さでロックレバーを押し下げます。

4 ロックレバーがいっぱいまで下がり、アームレストパッドが確実に固定されていることを確認します。

＊反対側も同じ高さに調節してください。
＊調節後、アームレストがしっかり固定されていることを確認してください。



ステップの高さ調節

使用者に合わせて、ステップの高さを適切な位置に調節してください。

ポスト式ステップ

1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。

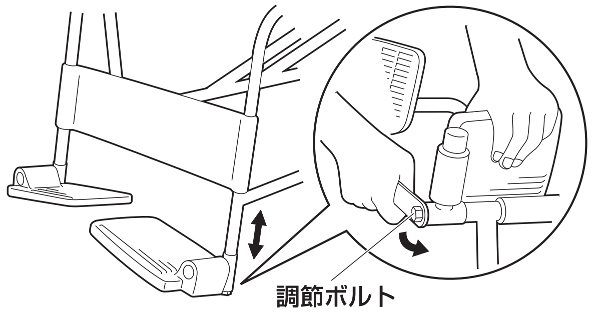
2 フットレストの裏側の調節ボルトをスパナなどでゆるめます。

3 使用者の足に合わせ、ステップの高さを調節します。

4 調節を終えたら、調節ボルトを締め付けて固定します。

＊反対側も同じ高さに調節してください。

＊ステップが回転せず、しっかり固定されていることを確認してください。

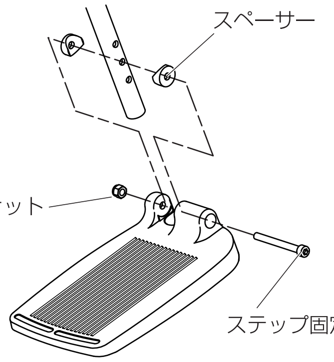


軽量ステップ

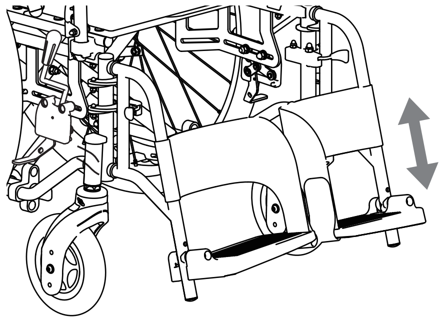
ステップは20mm間隔で3段階の高さに調節することができます。

1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。

2 ステップを下ろした状態で、ステップ固定ボルトを外します。



3 脚の長さに合わせてステップの高さを調節します。



4 希望の高さの穴を決めたら、固定ボルトを差し込み、ナットと共に締め付けて固定します。

＊反対側も同じ高さに調節してください。

ステップ調節のコツ

取り外すとき

1 六角レンチ等を使ってステップ固定ボルトを反時計回りに回します。反対側からナットが飛び出してきたら、ナットを指で押さえておきます。

⚠注意	ボルトがナット側に突き出ているときは、ナットを指で押さえているとけがをする恐れがありますのでご注意ください。

2 ステップ固定ボルトが空回りをはじめたら、車いすを傾けてボルトとナットを取り外します。

取り付けるとき

- ステップ固定ボルトの位置合わせをするときは、穴をのぞいてそこにボルトを挿入してください。
- ステップは、片手で回転できるくらいの固さを目安に取り付けてください。このとき、ステップ固定ボルトを締めすぎないように注意してください。

座面の高さ調節

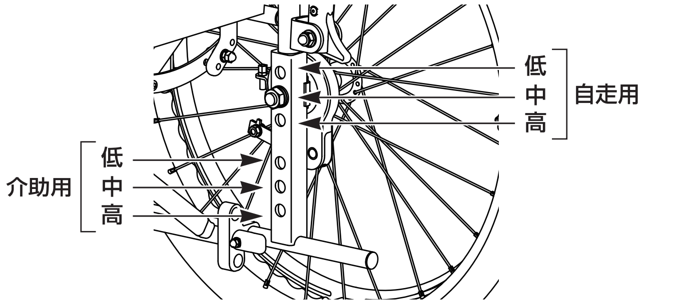
座面の高さを最大3段階（低・中・高）に調節することができます。
座面の高さ調節は、後車輪と前輪キャスターの取り付け位置をそれぞれ対応する高さ（低、中、または高）に調節することで行ないます。

＊後車輪と前輪キャスターは、それぞれ左右同じ高さに調節してください。
＊座面の高さを変更したら、必ず駐車ブレーキの取り付け位置も併せて調節してください。

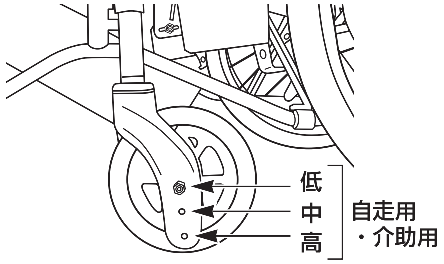
後車輪と前輪キャスターの調節範囲

A タイプ

後車輪

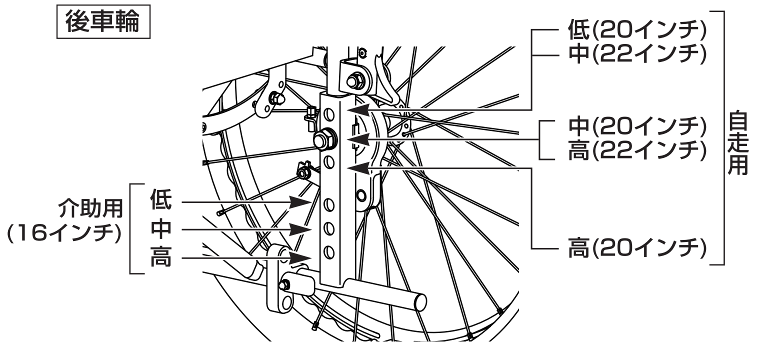


前輪キャスター

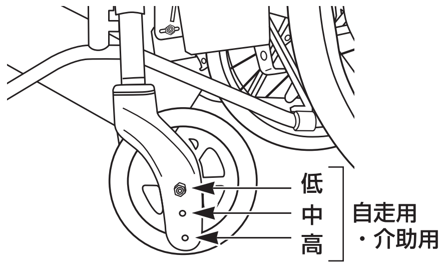


B タイプ

後車輪



前輪キャスター



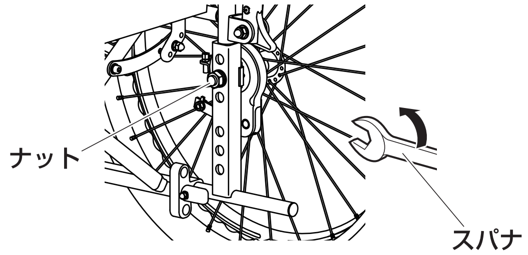
＊22インチは中・高のみ

⚠危険	・後車輪と前輪キャスターは、必ず対応する高さ設定に調節してください。 後車輪と前輪キャスターの調節を誤ると、腰掛けた場合に転倒する恐れがあります。 ・使用者を乗せたまま調節を行なうのは、絶対におやめください。

後車輪の高さを変える

1 作業しない側のブレーキのみかけます。

2 後車輪の車軸内側のナットをスパナなどで回して外し、後車輪を引き抜きます。
＊このとき、ドラムブレーキも一緒に取り外します。



3 後車輪を取り付ける穴を決め、後車輪の車軸をドラムブレーキ等に通し、本体フレームに差し込みます。

4 車軸内側にナット等を取り付け、しっかりと締め込みます。

5 後車輪がガタつかず、しっかりと固定されていることを確認します。

＊反対側も同じ高さに調節してください。

駐車ブレーキの取付位置を調節する

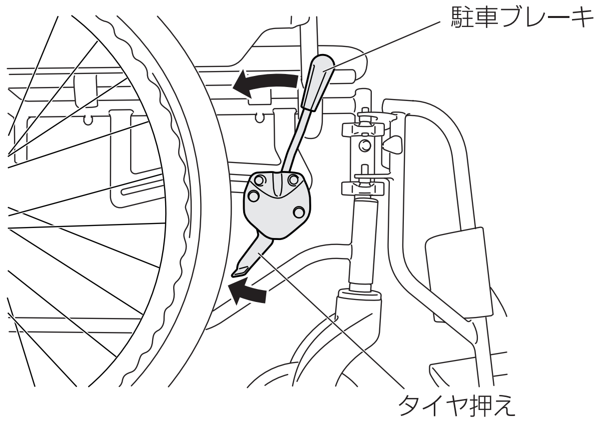
＊座面の高さを調節したら、後車輪と駐車ブレーキ間の距離が変わります。必ず駐車ブレーキの取付位置を調節してください。
＊ブレーキの効き具合を随時点検し、効きが悪い場合は、ブレーキの取付位置を調節してください。

1 駐車ブレーキの内側のナット（2本）をレンチなどでゆるめます。

2 駐車ブレーキをかけたときに、タイヤに駐車ブレーキのタイヤ押えが当たり、後車輪がしっかり止まる位置に調節します。

3 ナット（2本）を締め、駐車ブレーキがガタつかずしっかり固定されていることを確認します。

4 駐車ブレーキをかけ、後車輪がしっかり止まることを確認します。

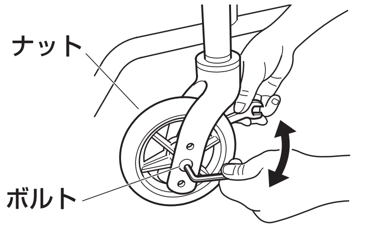


＊後車輪がしっかり止まらない場合、または駐車ブレーキが効きすぎる場合は、再度調節してください。
＊反対側も同様に調節してください。

前輪キャスターの高さを変える

1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。

2 前輪キャスター軸のナットをスパナなどで回して外し、ボルトを抜きます。



3 前ページ「後車輪と前輪キャスターの調節範囲」に従って、後車輪と同じ高さ設定になる取付け穴にボルトを差し込み、しっかりとナットを締め込みます。

4 前輪キャスターがしっかり固定されていることを確認します。また、前輪キャスターがスムーズに回転することを確認します。

＊反対側も同じ高さに調節してください。

フットレストの上げ下げ

フットレストの角度をお好みに合わせて変えることができます。脚を持ち上げたいときや、ひざ関節の曲がる範囲が限られている場合などに便利です。

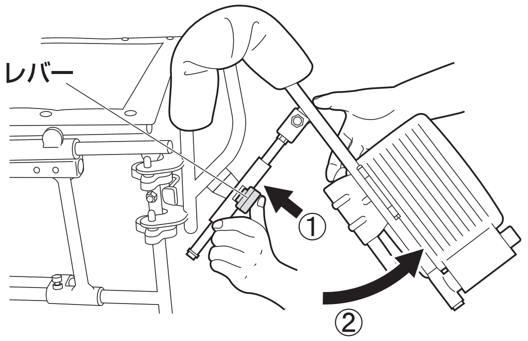
メカニカルロックタイプ

角度の変えかた

ロックレバーを上に押し込んでロックを解除し、フットレストを引き上げて角度を調節します。
ロックレバーを離すと、フットレストはロックされます。

＊ステップが回転せず、しっかり固定されていることを確認してください。

＊反対側も同じ角度に調節してください。



5段階調整タイプ

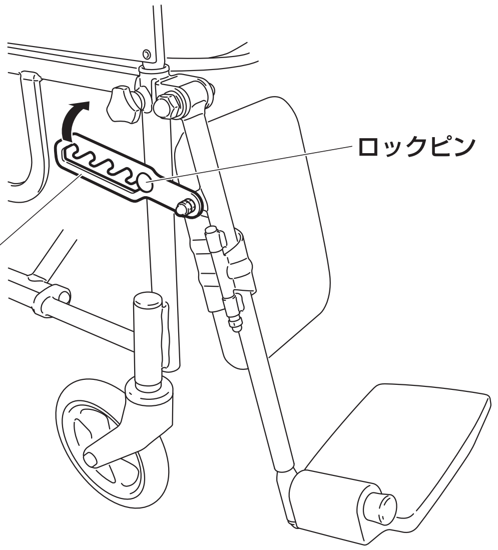
角度の変えかた

⚠注意	調節金具とロックピンの間に指をはさまないよう注意してください。

1 調節金具を上に持ち上げてロックを解除します。

2 フットレストが希望の角度になる位置で、調節金具を下ろします。
＊このとき、ロックピンが調節金具の穴にしっかりとはまり、ロックされたことを確認します。

＊反対側も同じ角度に調節してください。

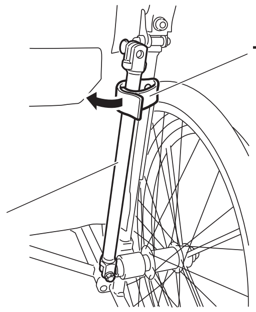


連結バーの取り付け・取り外し [片手駆動(シャフト式)仕様車のみ]

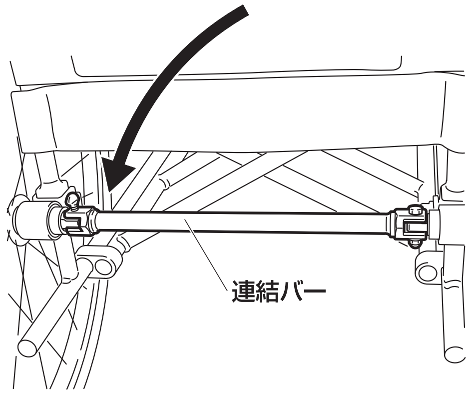
● 取り付けかた

1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。

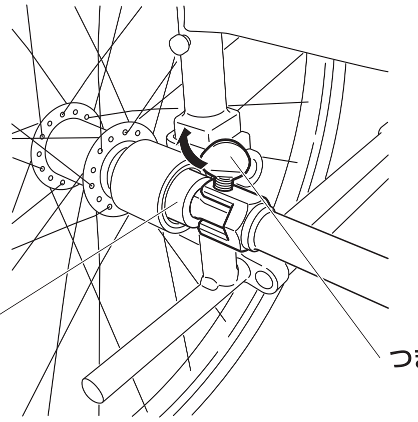
2 連結バーを留めているマジックテープを外します。



3 連結バーを反対側の車軸につなぎます。



4 車軸を回してネジのつまみの部分を上に向け、しっかりとネジを締め付けます。

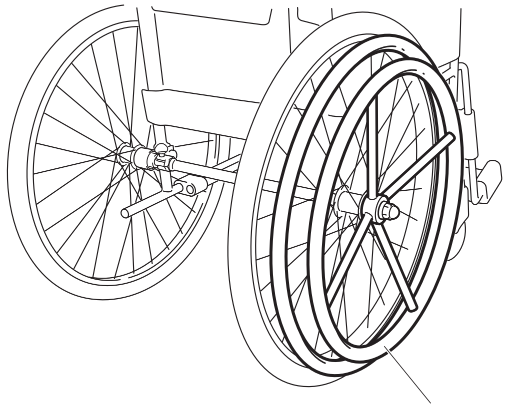


● 取り外しかた

取り付けとは逆の要領で、連結バーを取り外してください。

● 操作のしかた

外側のハンドリムで、連結された車輪を操作することができます。



背シートの張り具合調節

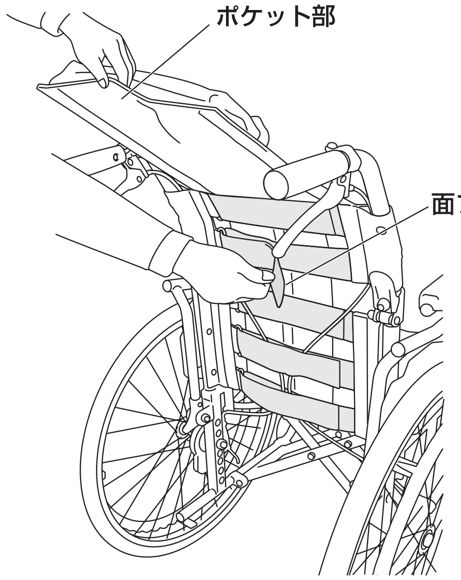
＊背シートの張り具合を随時チェックし、必要に応じて調節してください。

1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。

2 ポケット部をめくり上げます。

3 面ファスナーををはがし、背シートの張り具合を調節した後、もう一度面ファスナーをしっかりと貼り合せます。
＊手で背シートを押し、確実に固定されていて、張り具合が適切であることを確認してください。

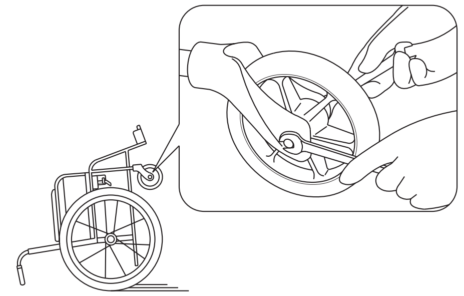
4 ポケット部を元に戻します。



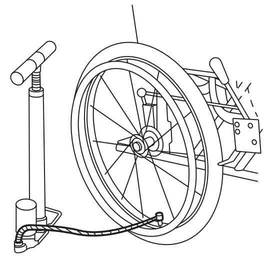
使用上のご注意

保守・点検

乗車前には必ず下記の事項を点検・整備し、常に安全な状態で使用してください。
＊ 修理・調整は必ず販売店へ依頼してください。

⚠警告	前輪キャスター・後車輪・ブレーキ等のゆるみを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。

・タイヤの空気を自転車と同じ要領で補充してください。長時間使用しなくても空気は抜けていきます。空気が抜けた状態で使用すると、タイヤやチューブを傷め、破損する恐れがあります。
（タイヤの空気圧はタイヤ側面に明記されています。）



・ブレーキの効き具合が悪いときは、タイヤの空気圧を調整してください。それでもブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。

・パンクのときは、販売店または最寄りの自転車店におたずねください。また、パンクしたまま乗らないでください。

・使用者の脚の長さに合わせて、ステップを適切な高さに調節してください。
（地上より50mm以上あげてください。）

・車いすは熱気、湿気に弱いため、湿気の多い所、外部、自動車内での長期放置や、水のかかる場所には放置しないでください。

● 消耗品、交換部品の確認

⚠注意	交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがあります。

それぞれの部品が交換時期になったときは、お早めに交換してください。
新しい部品に交換する際は、お買上げの販売店へご連絡ください。

消耗品・交換部品

品　名	交　換　時　期
主輪タイヤ	タイヤの表面に溝がなくなったとき。
キャスター車輪	表面の摩耗が著しいとき。しっかりロックしても車輪ががたつくとき。
シート	ほつれ、切れ目が発生したとき。ひどく汚れたとき。
ワイヤー	ワイヤーにほつれ、サビが発生したとき

お手入れ・保管について

● フレームのお手入れ

・フレームの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。拭き取った後は、乾いた布で水分を取り除いてください。
・水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。
・錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の高い場所や室温の上がる場所には保管しないでください。

● シートのお手入れ

・シートが汚れた場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取った後、水で濡らした布で洗剤を拭き取り、乾かしてご使用ください。
・面ファスナーに糸くず、汚れ等がついた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。

● アームサポート、グリップ等の樹脂部品のお手入れ

樹脂部品の汚れは中性洗剤で落としてください。

⚠注意	シンナー、ベンジン等の溶剤は使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。

● 保管・収納について

・収納スペースが少ないときは、座シート、バックサポートを折りたたんで保管してください。
・錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の高い場所や室温の上がる場所には保管しないでください。